



令和7年8月12日

各位

会社名 トラスコ中山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
(コード 9830 東証プライム)
問合せ先 取締役 経営管理本部 本部長 兼
デジタル戦略本部 本部長 兼
オレンジブック本部 本部長
数 見 篤
(TEL. 03-3433-9830)

剰余金の配当、業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和7年8月12日開催の取締役会において、下記のとおり令和7年6月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議するとともに、令和6年12月期決算発表時に公表した業績予想の修正を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (令和7年2月13日公表)	前事業年度実績 (令和6年12月期)
基 準 日	令和7年6月30日	同左	令和6年6月30日
1株当たり配当金	30円50銭	27円00銭	26円00銭
配当金総額	2,011百万円	—	1,714百万円
効力発生日	令和7年8月29日	—	令和6年8月30日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 令和7年12月期通期連結業績予想数値の修正（令和7年1月1日～令和7年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 317,430	百万円 21,130	百万円 21,170	百万円 14,520	220円20銭
今回修正予想（B）	325,000	23,029	22,752	15,557	235円94銭
増減額（B－A）	+7,570	+1,899	+1,582	+1,037	
増減率（%）	+2.4	+9.0	+7.5	+7.1	
（参考）前年同期間実績 （令和6年1月1日～ 令和6年12月31日）	295,024	19,978	20,056	16,095	244円09銭

3. 修正の理由

(業績予想の修正)

当中間連結会計期間における日本経済は、自動車など最終製品の需要が下支えとなり、概ね順調に推移したものの、米国通商政策の影響による不確実性の高まりや中国経済の低迷により、不透明な状況となりました。当社及び連結子会社の中間連結会計期間においては、従来から継続している豊富な在庫保有とお客様の利便性向上、環境負荷軽減に貢献する施策強化の成果により、売上高が前年同期比+10.3%と想定より伸長しました。第2四半期（中間期）の状況を鑑み、第3四半期以降の見通しを精査した結果、令和6年12月期決算発表時に公表した通期業績予想を修正し、売上高を前年同期比+10.2%の3,250億円、経常利益を前年同期比+13.4%の227億52百万円に引き上げました。なお、令和7年7月1日より給与改定（ベースアップ）及び住宅補助手当の増額を実施いたしましたが、修繕費や消耗品費など各費用の抑制により販売費及び一般管理費については、当初計画予想を維持する見込みです。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上